

広報 こえのするまち

おいしいだ

3
March

大石田町

2024
No.813

祝

大石田中学校 卒業証書授与

勇気を持って、
一歩を踏み出そう。

インターハイで快進撃！

遠藤佳人さんへ
インタビュー／P2～3

令和6年度施政要旨・予算概要・予算の主な使いみち／P4～9

ニュース玉手箱／P10～11

廃食油から航空燃料SAFリサイクルの取り組み／P12

おいしいだものがたり／P16

お知らせ版／挟み込み

表紙写真／大石田中学校卒業式（大石田中学校・3月14日（木））

アナフィラキシーを乗り越え、
インターハイでスキーリレー優勝果たす



特別インタビュー企画
秋田北鷹高等学校3年
遠藤佳人さん
(上ノ原地区出身)

インターハイで快進撃！
母校を優勝に導く

2月8日(木)〜11日(日)に富山県で行われたインターハイ(全国高校総体)のスキー競技で、秋田県立秋田北鷹^{ほくよう}高校に通う遠藤佳人さん(上ノ原地区出身)が、男子10kmフリーで2位、男子10kmクラシカルで3位、男子4×10kmリレーで1位を獲得する快進撃を見せ、母校を優勝に導きました。

大会日	種目	タイム	順位
2月8日	男子10kmフリー	23分25秒6	2位
2月10日	男子10kmクラシカル	27分10秒0	3位
2月11日	男子4×10kmリレー	1時間50分55秒2 <small>佳人さんは一気に5人抜きする区間1位の走りを見せる！</small>	1位

▲佳人さんの出場種目とタイム、順位など



▲優勝したリレーメンバー
佳人さんは写真右下

を辞めようと思ったこともあったそうです。
今回は佳人さんに、大会を振り返っての感想や今後の目標を聞いてみました。

佳人さんに大会の感想と今後の目標を聞きました

佳人さんは、スキー一家の遠藤家の3男として育ち、父の純也さんや兄弟にスキーを教わるなど、幼いころからスキーと触れ合ってきました。中学校卒業後は、スポーツ強豪校である秋田北鷹高校(北秋田市)に進学。並みいる強豪選手に負けないよう、日々トレーニングを積んできました。

令和5年4月には、スキー部の主将に選ばれ、「インターハイでリレー優勝」をチームの目標に掲げ、より一層トレーニングに力を入れていきました。

今大会で華々しい結果を残した佳人さんですが、これまでのスキー人生は決して平坦なものではありませんでした。高校2年の夏には、運動が原因のアナフィラキシーを発症し、スキー

を辞めようと思ったこともあったそうです。
今回は佳人さんに、大会を振り返っての感想や今後の目標を聞いてみました。

佳人さんに大会の感想と今後の目標を聞きました

広報担当 インターハイ大変お疲れさまでした。大会を振り返っての感想を聞かせてください。
佳人さん まずは応援していただいた皆さんに感謝を伝えたいです。昨年のインターハイ(上山市・坊平高原)では、小学3年生の頃から練習して慣れ親しんだ場所で優勝を狙っていましたが、十分に力を発揮できずフリー、クラシカルともに11位という結果で本当に悔しい思いをしました。それから人の倍練習してきました。今回の結果に繋がったと思います。

広報担当 普段スキー部ではどのような練習をしていますか？
佳人さん スキーができない季節はローラースキーやランニングなどをしています。また、昨年の夏から登山を取り入れました。登山は前回スキー部が優勝した際に行っていたトレ

ニングで、今回監督の指示で実践しました。これまで監督を信じて練習してきました。良かったです。
広報担当 過去にアナフィラキシーを発症されたと聞きましたが？
佳人さん 高校2年の時、夏の北海道合宿で突然全身に赤い発疹が出ました。診断の結果、「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」という病気で、食後の運動が原因で起こるアナフィラキシーでした。他のみんなと一緒に練習ができなくなり、毎日、焦りと不安でいっぱいでした。スキーを辞めようと思ったこともありましたが、部員や家族など、周囲の温かい応援によって、めげずにスキーを続けることができました。

飯を食べに行つて息抜きをしています。
広報担当 最後に今後の目標を教えてください。
佳人さん 4月からは東洋大学に進学する予定で、これからもスキーを頑張ります。今の目標は、全日本学生選手権(インターカレッジ)で個人と団体、両方で入賞することです。

また、世界選手権大会に出場して、世界レベルの選手と戦ってみたいです。引き続き、応援よろしくお願いします！



▲楽しそうに夢を語る佳人さん

保育料・学校給食を完全無償化！ 子育て支援策を拡充します！



令和6年度

施政要旨

はじめに

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、昨年12月に2050年までの地域別の推計人口を公表しました。全国の人口は、2020年の国勢調査の人口と比較し17%の減、大石田町においては、6,577人だった人口が、2050年には、53・1%減の3,082人になると推計されています。政府では、日本社会の最大の戦略課題は「人口減少問題」であり、第一に前例のない規模で子ども・子育て政策の抜本的な強化を図るとしております。当町においても、少子化は最大の課題として捉え、「次世代へ虹をかける」を合言葉に子育て支援の拡充、少子化対策に尽力してまいります。

昨年の夏は記録的な猛暑となったこともあり、大雨による水害は発生しませんでした。しかしながら、異常気象が続く昨今、以前とは雨の降り方が変化し、激甚化した豪雨災害が頻発して発生するようになり、いつ令和2年のような水害が発生してもおかしくない状況にあります。現在、国は県、市町村等と連携しながら「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を進めており、当町においては堤防整備等が計画されており、安心して暮らせるまちづくりのために、町民の皆様の声を聴き、国と連携して事業に取り組んでまいります。

各分野の施策概要

納税対策事業

○スマホ収納等のキャッシュレス決済の拡充を図るなど、納税環境の整備に努めるとともに、スマホを利用した申告の推進等、納税のデジタル化に取り組んでまいります。

地域活性化事業

○小型除雪機購入補助制度を拡充し、さらなる雪対策を実施してまいります。

○高齢者世帯の住宅の状況をまとめたカルテを作成し、関係団体等と情報を共有し、安全で的確な除雪支援体制の構築に取り組んでまいります。

保健・福祉関係事業

○第3期目となる「大石田町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、保育料の完全無償化や入学準備金等の拡充、新たに保険適用外の不妊治療費の助成を行い、子育て世代を支援してまいります。

○「第9期介護保険事業計画」に基づき、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進を求めた総合的な高齢者対策を進めてまいります。

安全安心のまちづくり事業

○消防機材等を更新整備し、消防力の維持と向上に努めます。

○免許自主返納高齢者への支援を継続します。

○交通事故を防止するため、関係機関と緊密に連携し、交通安全意識の普及啓発に努めます。

○レインボー作戦を継続して今後も「元気なあいさつあふれるまちづくり」を目指します。

サイクル促進を図ってまいります。

○クリーン・アップ大石田を通して、身近な環境の美化とともに公衆衛生規範を醸成し、持続可能な循環型社会の形成に努めます。

○ごみ収集日や分別の周知を徹底し、マナー向上に努めます。

建設関係事業

○安全で安心な道路空間確保のため、町道を計画的に整備します。

○冬期間の安全な道路交通を確保するため、行政と住民の総力を結集して道路除雪にあたります。

○流雪溝整備は克雪対策事業の最も重要な事業の一つと位置づけ、引き続き鷹巣地内の整備を実施してまいります。また、未整備地区の流雪溝整備に向けて関係機関との連携を強化します。

最上川緊急治水対策事業

○公共事業用地の取得に伴う代替地登録制度を、引き続き推進してまいります。また、今後、利用する予定のない町有地を活用し、移転対象者に優先的に提供するため、宅地の整備に取り組んでまいります。

○地域住民の声に常に耳を傾けながら、より良い事業として完了できるように、関係機関と協力して取り組んでまいります。

教育文化振興事業

○統合小学校整備に向けて、学園づくり委員会などや専門部会を中心に検討し、適時住民説明会でご意見を伺いながら、実施設計を進めてまいります。

○部活動地域移行検討委員会を組織し、国や県などの動向を注視しながら中学校の部活動の在り方について検討してまいります。

○給食費の完全無償化を実施し、保護者の経済負担の軽減を図ります。

○町民一人1スポーツ・1芸術を継続した柱として、多様で価値の高い学びの機会に努めます。

○地域学校協働本部を中心として、子どもたちが自然体験や様々なスポーツ・文化活動ができるよう取り組んでまいります。

○第3次「健康増進計画 健康おおいしだ21」を策定し、町民の健康づくりの目標を定め、町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、その取り組みを関係機関と連携し、総合的に支援してまいります。

農林業振興事業

○長引くウクライナ問題の影響を受け、資材・肥料が高騰しておりますので、国や県と歩調を合わせて高騰対策に取り組んでまいります。

○昨年は、猛暑の影響を受け、一等米比率が大きく落ち込みました。地球温暖化は今後も続くことが予想されますので、高温耐性品種の導入なども検討してまいります。

○5年間で一度も水張りをしない転作田への交付金支払対象除外の見直し問題について、県と連携を図りながら交付金支払いの継続に向けて要望してまいります。

○森林所有者に意向調査を実施し、森林譲与税を財源とした森林整備事業を進めてまいります。

商工業振興事業

○町内商工業事業者の経営基盤強化のさらなる指導等を支援するため、町商工会補助金を増額し、町商工会と連携を図りながら商工業の活性化を推進してまいります。

○町内における消費喚起を図り、町内経済の活性化を推進するため、16年目となるプレミアム商品券発行事業を支援します。

○インバウンドの来町者数はコロナ禍前に戻りつつありますので、大石田駅を中心とした周遊圏の構築を商工会など関係機関とともに検討してまいります。

観光物産振興事業

○東北中央自動車道東根〜尾花沢間や国道347号を活用して、仙台圏からの観光客誘致とあわせて、着地型商品開発やPR活動などを推進し、交流人口の拡大に努めます。

○「そばの里」振興のため、新そばまつりなど各種イベント開催への支援を通じて観光振興を図ります。

○リニューアルした大石田駅都市施設を中心とする駅周辺において、町商工会と連携して旅行者に対するおもてなしを充実してまいります。

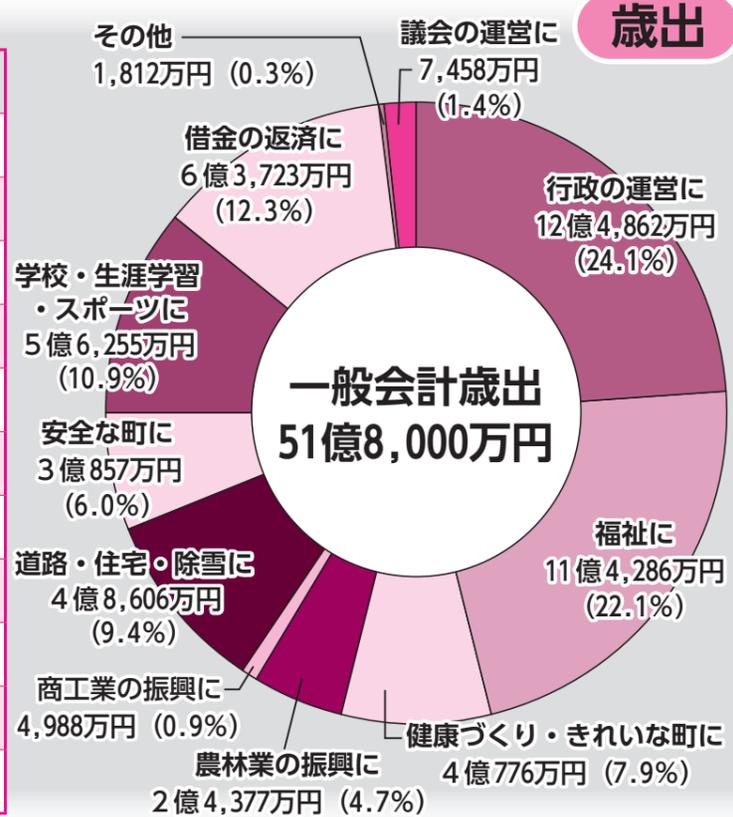
○「大石田まつり最上川花火大会」を開催し、地域経済の活性化と観光客の誘致を図ります。

生活環境保全事業

○令和5年度は、ペットボトル水平リサイクル事業に関する協定や新たな廃食油リサイクル事業に関する協定を締結しました。今後も、資源の

歳出における前年との比較

区分	上段：増減額 (増減率)	下段：前年度予算額
議会の運営に	136万円 (1.8%)	7,322万円
行政の運営に	3,334万円 (2.7%)	12億1,528万円
福祉に	1,146万円 (1.0%)	11億3,140万円
健康づくり・ きれいな町に	652万円 (1.6%)	4億1,224万円
農林業の 振興に	2,133万円 (9.6%)	2億2,244万円
商工業の 振興に	▲472万円 (▲8.6%)	5,460万円
道路・住宅・ 除雪に	1,400万円 (2.9%)	4億7,206万円
安全な町に	4,485万円 (17.0%)	2億6,372万円
学校・生涯学習・ スポーツに	1,965万円 (3.6%)	5億4,290万円
借金の返済に	▲3,777万円 (▲5.6%)	6億7,500万円
その他	26万円 (0.1%)	1,786万円



性質別にみる一般会計の歳出

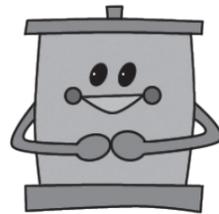
人件費：職員の給与など	10億5,096万円 (前年比3.9%)
扶助費：障がい者支援や医療費助成など	5億3,202万円 (前年比5.5%)
公債費：過去の借入金の返済にかかる費用	6億3,723万円 (前年比▲5.6%)
行政運営費：事業実施の事務経費や施設管理費用など	20億9,024万円 (前年比1.3%)
施設等整備費：施設や道路などの整備にかかる費用	4億1,298万円 (前年比8.7%)
繰入金：一般会計から特別会計等に支出する費用	4億5,657万円 (前年比4.7%)

一般会計および特別会計当初予算

区分	予算額	増減率
一般会計	51億8,000万円	2.2%
特別会計	国民健康保険	7億7,600万円 ▲0.4%
	介護保険	9億6,680万円 0.7%
	後期高齢者医療	1億2,040万円 16.9%
公営企業会計	簡易水道	1,250万円 歳出ベース
	農業集落排水事業	1億3,819万円 歳出ベース
計	71億9,389万円	2.6%

用語解説

- 地方交付税**：全国どの自治体でも一定の行政サービスが提供できるように、国が財政状況に応じて配分するお金。
- 国・県支出金**：国や県が使い道を決めて支出する補助金、交付金や負担金などのこと。
- 繰入金**：積み立てていた基金などから予算に繰り入れるお金。
- 町債**：町が銀行などから借りるお金。
- その他収入**：町の土地などを利用したときの使用料のほか、諸収入や寄付金など。
- 公債費**：過去に町が借りたお金(町債)を返すための費用。一般会計歳出の円グラフ「借金の返済に」の項目。



「次世代へ虹をかける」

一般会計当初予算

51億8,000万円

令和6年度当初予算が可決されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計予算は51億8,000万円で、前年度当初予算と比較すると1億1,000万円の増となりました。

一般会計・特別会計・公営企業会計 令和6年度当初予算額

一般会計

51億8,000万円
前年度比+2.2%

福祉・医療、教育、道路整備などの基礎的な行政サービスを行っていくための会計です。行政の主な事業はこの予算によってまかなわれています。

特別会計

18億6,320万円
前年度比+1.1%

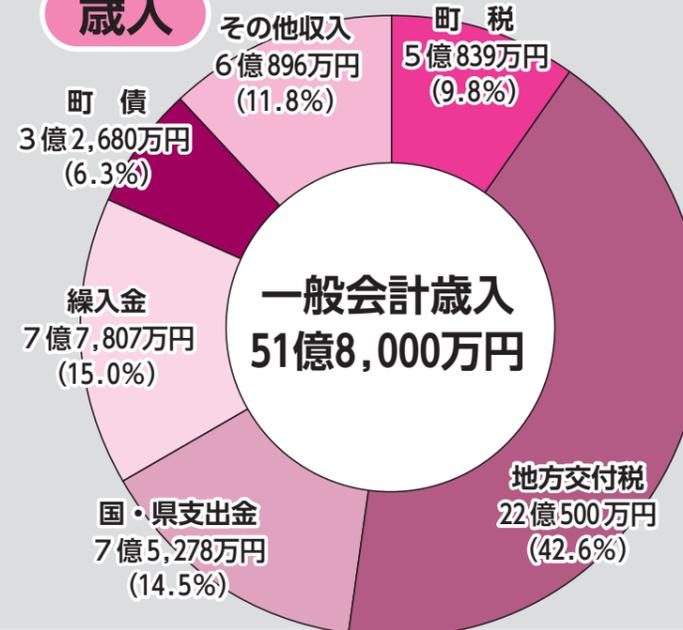
特定の事業を特定の収入でまかなう会計のことで、収支を明確にするために、一般会計から独立したものとなっています。大石田町では3つの特別会計があります。

公営企業会計

1億5,069万円
歳出ベース

事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を經理する会計です。簡易水道会計と農業集落排水事業会計はこれに該当します。

歳入



歳入における前年との比較

区分	上段：増減額 (増減率)	下段：前年度予算額
町税	▲2,878万円 (▲5.4%)	5億3,717万円
地方交付税	▲1,500万円 (▲0.7%)	22億2,000万円
国・県支出金	2,678万円 (3.7%)	7億2,600万円
繰入金	84万円 (0.1%)	7億7,723万円
町債	1億2,515万円 (62.1%)	2億165万円
その他収入	101万円 (0.2%)	6億795万円

健康づくり・きれいな町に（衛生費）

出産・子育て応援事業	出産育児関連用品の購入費の助成に関する費用	2,024
予防接種事業	中学生までのインフルエンザワクチン接種など予防接種のための費用	12,081
健康増進事業費（がん検診事業）	各種がん検診の助成金など	12,671
新規 母子保健事業	不妊治療費の助成（保険対象部分以外）の新設に関する費用を増額	6,175
浄化槽整備事業補助金	浄化槽の整備に係る費用を補助	1,929
尾花沢市大石田町環境衛生事業組合負担金	尾花沢市大石田町環境衛生事業組合への負担金	248,014

農林業・商工業の振興に（農林業水産事業費+商工費）

元気な新規就農者支援事業	新規就農者の農業用機械等購入費用や農地賃借料の一部を助成します	600
拡充 丹生川漁業協同組合助成事業	組合員数の減少に対する補助金の増額	150
新規就農者定住促進支援事業	50歳未満の新規就農者の家賃を一部補助	75
多面的機能支払交付金事業	農業の多面的機能維持・発揮のための活動を支援	57,009
環境保全型農業直接支払交付金事業	環境にやさしい農業を実践する農業者に対する助成	6,910
水田農業構造改革事業	米の需給調整推進に関する費用	10,485
拡充 町商工会補助金	小規模事業者支援の強化のため増額	9,650
拡充 新事業チャレンジ支援助成事業	補助上限金額を拡大 50万円⇒60万円	3,000
新規 クロスカルチャープラザ管理事業	多目的コートLED化改修工事に関する費用	11,839
大石田まつり関連事業	大石田まつり負担金	6,000

道路・住宅・除雪に（土木費）

道路除雪費	町道等の除排雪や設置済み流雪溝の維持管理費用、除雪機械購入費用など	123,803
地域優良賃貸住宅家賃低廉化事業補助金	地域優良賃貸住宅の家賃補助に関する費用	8,640
新規 最上川流域治水対策管理事業	横山地内宅地造成事業、かわまちづくり協議会報償などに関する費用	15,056
住宅リフォーム支援事業	住宅リフォーム支援事業の補助金	16,750

安全なまちに（消防費）

新規 消防設備整備事業負担金	救急車両更新、女性職員採用に伴う施設改修、通信指令センター共同運用に関する費用	71,837
新規 災害対策事業	水中ポンプの点検整備、情報一斉配信システム利用料、地域防災専門員の配置などに関する費用	9,632

学校・生涯学習・スポーツに（教育費）

小学校施設整備事業	統合小学校整備に係る実施設計、外構等設計、造成工事に関する費用など	96,306
教育振興費	小中学校の備品購入やパソコン賃貸借料など	35,070
図書館関連事業	町立図書館の運営や蔵書の購入に関する費用	21,229
総合型地域スポーツクラブ事業	総合型スポーツクラブの運営に関する費用	1,000
生涯学習自主企画事業	生涯学習自主企画運営に関する費用	8,153

令和6年度一般会計



予算の主な使いみち

— Key uses of our budget —

ここでは、令和6年度一般会計予算の主な使いみちを紹介します。



（単位：千円）

議会の運営に（議会費）

新規 議会活性化事業	模擬議会、少年議会、モニター制度を行うための費用	171
------------	--------------------------	-----

行政の運営・まちづくりに（総務費）

新規 物価高騰対応重点支援事業	低所得者支援、定額減税補足給付金	48,398
新規 温泉施設管理事業	指定管理委託料、虹の館空調設備更新のための費用	42,256
拡充 移住・定住促進事業	高齢者住宅のカルテ作成、小型除雪機購入補助金	36,124
新規 デジタル田園都市国家構想総合戦略策定事業	令和7年度の戦略策定とDX推進に向けた基礎調査を行うための費用	4,700
新規 地域おこし協力隊インターン事業	インターン事業の業務委託のための費用	2,008
新規 Aiナビやまがた登録推進事業	県が運営する婚活マッチングシステムの登録料補助	100
ふるさと応援基金事業		473,335

福祉に（民生費）

暖房費助成事業	冬期間の高齢者世帯への暖房費助成	1,500
身体障がい者自立支援給付事業	身体障がい者への介護費用の給付金など	66,080
知的障がい者自立支援給付事業	知的障がい者への介護費用の給付金など	108,722
一人暮らし高齢者等除雪費助成金支給事業	一人暮らしの高齢者への除雪費助成金	5,450
子育て支援医療給付事業	高校生までの医療費無料化に関する費用	22,134
在宅保育支援助成金支給事業	在宅保育支援助成金の支給のための費用	1,140
拡充 入学準備金支給事業	入学準備金を増額 ①翌年度に小学校に入学する園児 1万円 ②翌年度に中学校に入学する児童 1万円⇒3万円 ③翌年度に高校に入学する生徒 3万円⇒5万円	3,930
児童手当支給事業	児童手当支給のための費用	64,958





そば街道振興会が水明苑を訪問 利用者とそば打ちで交流

そば店15店舗で組織する大石田そば街道振興会（芳賀清会長）の会員が2月21日（水）に水明苑を訪れ、利用者と職員に打ちたて茹でたてのそばを振舞いました。これは、同会がおいしいそばを味わってもらおうと、コロナ禍になるまでは毎年実施していたもので、今回4年ぶりの開催となりました。

この日は、そば打ち体験も行われ、利用者は会員にアドバイスを受けながら「こね、のし、きり」の作業を行い、作業が終わると見守っていた利用者や職員から会員に感謝の拍手が送られました。

最後に、茹でたてのそばが振舞われ、利用者はおいしい大石田そばに舌鼓を打っていました。



大中 立志式 2年生が将来の夢や目標語る

数 毎年で15歳を祝う元服にちなんだ立志式が、2月22日（木）に大石田中体育館で行われ、2年生47人が参加しました。同校では、生徒の自立心を育むため毎年立志式を開催しています。立志式は2部構成で行われ、最初、生徒による決意表明が行われました。茂庭秀明教頭が「今の志をしっかりと発表して、ご家族の方に感謝を伝えましょう」とあいさつすると、生徒はそれぞれ「甲子園野球に出場したい」や「勉強を頑張って志望校に合格したい」、「優しい人になりたい」など、今後の生き方や将来の夢を発表しました。

第2部では、株式会社最上川千本だんご代表取締役の五十嵐智志さんを招いた講話が行われました。講話は、「『ふるさと』大石田町を事業を通じて元気にしたい」というテーマで行われ、五十嵐代表が自身の経験を通して感じた「失敗を恐れずに挑戦すること」や「ふるさとを大切にすること」の大切さなどについて、優しく生徒たちに語りかけていました。

立志式実行委員長を務めた青木脩悟さんは、「1月から立志式の準備をしてきました。人前で発表するのはすごく緊張しましたが、自身の志である『堅忍不抜』という言葉に込めた思いをしっかりと伝えることができました。この言葉を大事にしなが、これからの学校生活を頑張りたいです」と話していました。



つや姫のおいしさ競うコンクール 土屋隆志さんが1位

つや姫のおいしさを競う「つや姫おいしさの神コンクール」が、2月7日（水）に新庄市で行われ、土屋隆志さん（川前）の生産した米が1位に選ばれました。同コンクールは、つや姫の更なる評価向上を目指して山形つや姫マイスターの会が開催しているもので、今年で3回目の開催です。

今年は県内から合計70点が出品され、香りや食感などを審査しました。土屋さんの米はうま味など、つや姫の特徴をうまく捉えていた点が評価され、見事1位を受賞しました。

土屋さんは「栽培マニュアルに従ってしっかり管理してきたことが結果につながりました」と話していました。



北村山高校そばガールズが 児童に手づくりの裁縫針刺しを寄贈

北村山高校家庭クラブ活動「そばガールズ」が、2月19日（月）に大石田小学校と役場を訪れ、4月から5年生に進級する児童41人分の手作り針刺しを寄贈しました。寄贈された針刺しは、学校で回収したペットボトルのキャップや裁縫で使った布の端切れなどを再利用して、そばガールズのメンバー自ら、一つ一つ手づくりしたものです。

そばガールズ代表の遠藤奏穂さんは、「小学校5年生から家庭科の授業が始まります。針刺しを活用してもらって、裁縫に興味を持ってもらえるとうれしいです」と話していました。

大変ありがとうございました。



食生活改善推進員連絡協議会が 町に食育関連の本25冊を寄贈

食生活改善推進員連絡協議会（長沢依子会長）が、2月21日（水）に役場を訪れ、食育関連の本25冊を寄贈しました。同会では「子どもたちの食育に役立ててもらいたい」との思いから、令和元年以降、毎年町に食育関連の本を寄贈いただいております。今年で5年目（合計136冊）です。

寄贈にあたり、長沢会長は「食は本当に大切です。特に子育て中の方に読んでいただき、親子で学んでほしいです」と話していました。

寄贈いただいた本は、町立図書館で読むことができるほか貸出も行っていますので、ぜひご利用ください。

大変ありがとうございました。



インバウンド客を 阿波踊りでお出迎え!

大石田駅を訪れたインバウンド客（訪日外国人旅行客等）を日本の伝統的な踊りで出迎えようと、最上川芭蕉連が阿波踊りを披露しました。同団体では、インバウンド客などの駅での待ち時間に、何か日本らしいものでおもてなしができればと考えていました。そこで昨年度から、特に多くのインバウンド客が訪れる春節、また学生旅行客が多く訪れる3月中旬の年2回に阿波踊りによるおもてなし事業を実施しています。

春節である2月10日（土）には、同団体の阿波踊りを観ようと多くのインバウンド客が駅舎から駅前広場に集まり、賑わいをみせていました。

同団体の今野雅信代表は、「大変多くの方に楽しんでもらえて良かったです。旅の思い出になれば嬉しいです」と話していました。

まってるよ!



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム (WebOPAC) から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

■ 開館時間 午前9時～午後7時 (日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
■ 休館日 毎週木曜日 (祝日の場合翌日) 《4月の休館日》4日(木)、11日(木)、18日(木)、25日(木)

4月の中央展示

春が来た!

春! 寒くつらい冬をこえて、植物が芽吹く季節です。何か新しい事を始めたいな、と思う人も多いかもしれませんね。図書館では、料理やガーデニング、スポーツなどの趣味に関する本や、GWに向けた春の行楽の本など、春にまつわるさまざまな本を展示しています! ぜひご利用ください*

小さなスペースでたっぷり収穫!

『一坪でできる野菜づくり』

(北条 雅章//監修 プティック社)



好奇心の旅が始まる!

『はじまりは一冊の本!』

(濱野 京子//作 森川 泉//絵 あかね書房)

今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!



『世界のねこことわざ』

(noritamami //著 ハーパー・コリンズ・ジャパン)

猫のように足から落ちる(スペイン)、角の生えた猫を持つ(インドネシア)、猫も茶を飲む(日本)…。世界中から集めた「猫」が出てくることわざを、かわいい猫の写真とともに紹介する。豆知識も掲載。



『シャーロック・ホームズの凱旋』

(森見 登美彦//著 中央公論新社)

舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが…まさかの大スランプ!? ホームズとワトソンはこの摩訶不思議な大迷宮(スランプ)を抜け出せるか。『小説BOC』連載を改稿し単行本化。

『一夜』

(今野 敏//著 新潮社)

竜崎のもとに、著名作家・北上輝記が小田原で誘拐されたという一報が入る。北上の友人でミステリ作家の梅林も絡み、一風変わった捜査が進む。一方、警視庁管内では殺人事件が発生し…。『小説新潮』連載を単行本化。



『ぶたくんの とどかない とどかない』

(ふくだ じゅんこ//さく 大日本図書)

背中がかゆくなったぶたくん。でも自分では手がとどきません。ぞうさんや、きりんさん、かめさんたちに背中をかいてもらおうとしますが、なかなかうまくいかず…。ユーモアたっぷりの絵本。



『動物愛護を考えよう みんな大切な命 1』

(高槻 成紀//監修 汐文社)

動物の命について考えるきっかけとなる本。ペットを飼育するうえで大切な約束のほか、ペットと人が共に生きるための法律、動物愛護団体や動物愛護センターの活動などを紹介します。



『やっときみをみつけたよ』

(グオ ジン//作・絵 大浜 千尋//訳・コーディネート パイインターナショナル)

公園で出会った子犬と女性。だんだんと距離が近づいていくが、嵐の夜にすれちがいが起きて…。あきらめないこと、優しくあること、そして誰かを信じることを、言葉を使わずに描いた絵本。

*書影は「版元ドットコム」または各出版社HPから、紹介文・書誌情報は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。

持続可能な資源循環社会の構築と
インバウンド交流人口の拡大を
目指して-

尾花沢市 大石田町
尾花沢市環境衛生事業組合
大石田町環境衛生事業組合

×
ENEOS
あやめサービス
吉川油脂



東北初! 航空燃料SAFの製造に関する協定を締結
この度、尾花沢市、大石田町、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合とENEOS、あやめサービス、吉川油脂で航空燃料SAF(サフ)の製造に関する廃食油リサイクル事業の協定を締結しました。これは東北では初の取り組みとなります。
SAFとは、廃食油等から精製され、従来の燃料と比較してCO2の排出量は60〜80%程度の削減効果が期待できる持続可能な航空燃料のことです。
現在、国際的なSAF需要の増大に対する航空業界の喫緊の課題として、輸入ではない、国内でのSAF製造体制の構築が急務となっており、
近年、両市町では、多くのインバウンド客(訪日外国人旅行者等)を受け入れている実情から、国産SAFの調達へは、今後、積極的に協力していく必要があります。
尾花沢市、大石田町、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合では、今後、管内における廃食油の更なるリサイクル促進を図り、「持続可能な資源循環社会の構築」と「インバウンド等交流人口の拡大」をより一層推進してまいります。
なお、廃食油のごみの出し方に変更はありません。これまで通り、「家庭ごみの分け方と出し方」に従い、衛生ステーションの回収BOXへ出していただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

町長コラム

「次世代へ虹をかける」

『挫折の神』

vol.3



冒頭ではございますが、令和3、4年度にかけて起きました虹のプラザ使用料紛失におきまして、町民の皆様にご迷惑をお詫び申し上げます。今後一度とこのようなことがないように、公金の厳正な取り扱いを順守し、再発防止に全力で取り組み、職員一丸となって信頼回復に努めてまいります。大変申し訳ございませんでした。
こんにちは! 外国人旅行者から、写真を撮ってくれますか? と頼まれた時に(一緒に写る方ではなく、撮る方で)、「はい、チーズ!」と思わず言ってしまった、通じないかと思ったら意外にも通じて、「はい、チーズ」って万国共通なのかと自分も驚いた庄司です。今回は「挫折の神」の話をしたと思います。
以前、東京でご活躍されている山形出身の会社経営者の方と初めのお会いした時に「挫折の神」という話を伺いました。
その方は、順風満帆で進んできた道だったけど、コロナで大きく挫折し、倒産を考えるほど悩んだ。ただ、その折れた道を、前を向いて進んでみたら、また新たな成長に繋がって、もしかして真直ぐ進んでいた道よりも折れて良かったかなと今では思えるようになった。
「挫折」にも「挫折の神」が存在し、折れた所から始まる新しい道に導いてくれるんだよ。
だから挫折しても、くじけず前を向いて進んだ方がいいよ。
そんな話を交えて、経営論、モノゴトの考え方を教えていただきました。
挫折、失敗した時はツライかもしれない、それでも前を向いて進めば必ずそれを乗り越えられるし、さらに良い方向に進むキッカケになるかもしれない、そんなことを思わせてくれた山形出身の経営者との出会いでした。
大石田町長 庄司 中

新しい選挙管理委員を紹介します



大沼 健一
(朝日町)

委員



小内 晴夫
(上ノ原)

委員長



渡會 哲夫
(四日町)

委員



井苅 博子
(川 前)

委員長代理

任期満了に伴って、このたび新しく町選挙管理委員4人が決まりました。任期は令和9年12月31日までの4年間です。

火災のない安心な町を目指して



消防団出初式が、3月3日(日)に佐田町や本町などの通りを会場に行われました。出初式には消防団員約150人と消防ポンプ自動車など18台が参加し、一斉放水や早坂和義団長を先頭にした統率のとれた分列行進などで士気の高さを披露していました。

春は空気が乾燥して火事が起こりやすくなります。火の始末には十分注意しましょう。

大石田町地域おこし協力隊コラム

令和3年4月に地域おこし協力隊として着任した、久龍・土田・末石隊員の3年間の任期が3月31日で終了します。町民の皆さまには、温かい応援のお言葉や山形・大石田の美味しいお裾分け、沢山の力添えをいただきました。大変ありがとうございました！
久龍・土田・末石



死亡事故ゼロ1,367日目

(3月15日現在)

大石田町の交通事故発生状況
(令和6年1月1日～3月15日)



- 発生件数 0件 (-2件)
 - 負傷者数 0人 (-2人)
 - 死亡者数 0人 (±0人)
- ※ () は前年比

今月のポイント

自転車に乗る時のヘルメット着用が努力義務化されました。
ヘルメットは自転車事故からあなたの命を守ります。大人も子どももヘルメットをしっかりと着用しましょう！

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

4月の主な行事予定

日	行事予定
1(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場「相談室」
2(火)	大石田保育園入園式/午前10時/大石田保育園
3(水)	ふたば保育園・ふたば横山保育園入園式/午前10時/各保育園
7(日)	町内小学校入学式/午前10時/各小学校 大石田中学校入学式/午後1時30分/大石田中学校
10(水)	心配ごと相談/午後1時30分～午後4時/社会福祉協議会
11(木)	年金相談/午前10時～午後3時/役場「101会議室」 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。 ☎0233-22-2050 (自動音声案内後5番)
15(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場「相談室」
16(火)	狂犬病予防注射(田沢・横山・豊田・海谷・役場)
25(木)	農業委員会総会/午前10時/役場「大会議室」

※都合により日程が変わる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

日曜・休日急患の当番医

4月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
7(日)	後藤医院	(35)2034
14(日)	さかえクリニック	(53)8181
21(日)	おくやま内科医院	(24)0980
28(日)	吾妻クリニック	(35)2021
29(月)	清治医院	(23)2125

家族の健康管理に気をつけて

短歌

あなたのニギハヤク

※原文のとおり掲載しています。

雪折れの枝拾いきて差しおりし桜花満開卓上に咲く

暖冬で二月半に雪は無し昨年は積雪五尺五寸ぞ

釣りのトンボが水面に輪を飛ば泳ぎゆきたる蛇がくはえる

東電の原発爆発のこはさ知る「地震かみなり火事と原発」

長篇の家子夫の『茂吉随行記』久さびさに読む懐かしみつつ(板垣家子志)

歩くことが趣味になりつつある朝の人形町で小雨に濡れる

水銀は不死の妙薬なりしてふ実験動物の名は始皇帝

なんとなく気持がせかせかせかした時はコップの水をゴクリと飲み干す

雪の街稚児スキップ姿の手に

又来たか花粉の便り春の風

熊谷ヨエ子

海藤忠男

伊藤哲夫

加藤勝利

富樫榮太郎

小玉春歌

小関祐子

鈴木智恵美

俳句

祝い席笑顔一献暖かく

畑に萌黄葱の芽味深し

鳶二羽を遊ばせてあゝ春疾風

除雪機を使ふにあらず車庫の中

2羽遅れVの字並び鳥帰る

看板文字寒自然薯に習ひもそ

雪の街稚児スキップ姿の手に

又来たか花粉の便り春の風

佐藤一郎

山奥G

星川紀一郎

木村満喜子

柏倉ヤス子

系尾樫

青木ミサ女

青木宙翁

別冊

おいしいだものがたり

～資料館資料編～ ■「大石田雛人形展」より

桃の節句におひな様を飾ってお祝いをするという行事は、現在ではスタンダードな光景です。かつては身の穢れを人形（ひとがた）に移して川に流す「流し雛」が行われていたといい、現在の雛祭りのルーツはこのあたりに求められています。桃の節句を雛人形で祝うことは日本古来の伝統行事だと思われていますが、実は全国的な節句行事としてひなまつりが行われるようになったのはそれほど昔のことではありません。『日本民俗地図Ⅰ』（昭和44）には、全国各地の民俗資料を対象としたフィールドワークの調査結果が報告されており、節句行事の実施状況を知ることができます。これによると三月の節句に雛人形を飾る地域は全体のわずか30%に止まり、昭和中期頃まではメジャーな行事ではなかったといえます。



宮城県や秋田県では10%台とさらに低い一方山形県内では52%にのぼり、大半の地域で雛人形が飾られています。なぜ山形県には雛人形文化が広範囲に定着していたのかといえば、おそらく最上川舟運と関係しているのでしょう。県内各地には上方や江戸からもたらされた雛人形が数多く残っており、それらが舟運を介して最上川流域に広く伝播していった過程が窺えます。しかしこれだけでは、ごく一部の裕福な商人だけが楽しむ遊びに過ぎず、半数以上の地域に根付く風習にはなっていないはずです。

より広い地域の、特に庶民にまで雛人形文化を伝える役割を持っていたのが「お雛見」と「土雛」だったと考えられます。「お雛見」は、雛人形を所持する商家が近隣の人々や子どもたちを招いて菓子や軽食を振る舞うもので、大石田でも見られた風習です。「お雛見」によって雛飾りでのお祝いが庶民層にまで認知されるようになると、同様の行事が取り入れられるようになります。その際、雛飾りとして用いられたのが「土雛」だったのです。粘土を焼いて彩色する土人形は安価であったことから、雛市や行商などで気軽に手に入れることができました。土人形は仙台の堤人形が有名ですが、県内でも米沢（相良人形）や酒田（鶴土川原人形）をはじめ11か所もの生産地が確認されています。これは東北全体の約半数を占めており、県内での需要の高さ、つまりは雛飾りの文化が広く普及していたことを裏付けるものでもあります。

雛人形を伴う節句のお祝いは地域的に見ればローカルな風習ですが、宮中や大名家（大奥でも）などでは伝統的に行われていたものです。同様の文化が山形県、特に文物の交流拠点であった大石田河岸やその近隣ではかなり古くから、庶民層にまで浸透していたことは当地の文化的特異性を示すものでもあります。

大石田雛人形展は4月3日(水)まで

資料館内聴禽書屋にて、3月31日(日)に和琴演奏会、4月3日(水)に抹茶席を開催します。ぜひご来場ください！



大石田町公式アカウント開設

LINEをはじめました

防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。

友だち登録をお願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

■総務課総務グループ TEL.35-2111 (内線218)

町の人口 令和6年3月1日現在

世帯数	2,232戸	(-2)
総人口	6,095人	(-17)
男	3,023人	(-10)
女	3,072人	(-7)

(2月中の異動)

出生	0人	転入	5人
死亡	11人	転出	11人

※この人数は外国人も含めたものです。